

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回朝霞市社会教育委員会議（研修会）	
開催日時	令和5年12月13日（水） 午後 2時00分から 午後 3時30分まで	
開催場所	朝霞市役所 別館5階 大会議室（奥）	
出席者	<p>○委員12人（金子委員、田邊委員、原委員、藤井委員、蕪木委員、蔵田委員、渡邊委員、齋藤委員、木村委員、小島委員、野本委員、高野委員）</p> <p>○事務局等5人（堀川生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長、渡邊生涯学習・スポーツ課長補佐兼生涯学習係長、五味主任、斉藤主任、小林主事補）</p>	
会議内容	<p>（1）研修会「朝霞市の生涯学習及び社会教育の取組について」</p> <p>（2）その他</p>	
会議資料	<p>資料1 朝霞市の生涯学習及び社会教育の取組について</p> <p>資料2 朝霞市社会教育委員名簿</p>	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 議長による内容確認	
その他の事項	傍聴人 0人	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○開 会

会議の公開・傍聴人の確認：事務局 五味主任  
議長のあいさつ：金子議長  
委員の欠席確認：事務局 五味主任

○議 事

（1）研修会「朝霞市の生涯学習及び社会教育の取組について」

（金子議長）

それでは議事の（1）研修会「朝霞市の生涯学習及び社会教育の取組について」というテーマで、朝霞市教育委員会、生涯学習スポーツ課の渡邊課長補佐から、主に朝霞市の生涯学習の現状の取組や課題などについて、お話いただきたいと思います。

（生涯学習・スポーツ課渡邊課長補佐兼社会教育主事）

みなさんこんにちは。朝霞市教育委員会生涯学習・スポーツ課の渡邊です。朝霞市の生涯学習及び社会教育の取組についてお話させていただきます。私は平成2年度に朝霞市役所に入庁し、朝霞市教育委員会職員として、内間木公民館に配属されました。生涯学習の地域の活動拠点である公民館では、5年間勤務し、現在の基礎となる社会教育、生涯学習について多くの体験や経験とともに、色々な事を学ばせていただきました。その後は、市役所内の市長部局に異動となり、生活保護ケースワーカーや住民税を課税する担当、防災など危機管理の担当を経て、平成25年度に再び、教育委員会、生涯学習課に配属され、生涯学習の基幹課にて仕事をすることとなりました。青少年の担当ということで、成人式やPTA、家庭教育学級などの仕事に携わって参りました。

平成26年度の機構改革により、生涯学習課がスポーツ課と合併して、生涯学習・スポーツ課となり、26年度から27年度の2年間は、生涯学習の担当として成人式などのほかにも、子ども大学や、芸術・文化事業、人権教育など多様な学習機会に関わり、仕事をしてきました。

2年間の市長部局への異動ののち、平成30年度から、生涯学習・スポーツ課に戻り、現在に至っています。我が課における取組等についてまとめてみましたので、ご説明させていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【パワーポイントと資料で説明】

それでは見開き、2ページをご覧ください。ご存じのとおり、埼玉県全県でございます。ご覧のとおり、本市は埼玉県南部、東京都と接したかなり便利な位置にございます。

本市は東京都練馬区と接しており、荒川を間にして、県庁所在地であるさいたま市とも隣同士です。

交通網といえば、道路は国道254号線（川越街道）が通り、市の東部の行政境には東京外環自動車道が走っており、様々な高速道路へのアクセスができます。また、鉄道も市内を十字に、東武東上線、JR武蔵野線が走っており、交通網はとてもし便性の高いものとなっています。そうした都心近郊にありながらも、ほどよく武蔵野の雑木林や、湧水を水源とした黒目川が流れており、とても環境のよい街であると思います。そのため、人口は微増ですが、増加傾向にあります。現在は14万4千871人となっています。

朝霞市では四季折々、様々なイベントがあります。

・黒目川花まつり・ジャズの夕べ・彩夏祭・アートマルシェ

・ストリートテラス・冬のあかりテラス・北朝霞どんぶり王選手権 など

(春の黒目川の風景と水辺の青い宝石「カワセミ」の写真)

朝霞市は都市農業も盛んです。(市の特産品のニンジン)

ご覧のように、朝霞市を東、西、南、北、内間木地区のおよそ5地区に分類しますと、南地区には体育施設が多く設置されています。また、内間木地区にはその土地柄から、運動公園が整備され、東、北、西地区には公民館や博物館、図書館分館といった社会教育施設が整備されています。

南地区の市役所周辺空撮写真です。

写真の右側の真ん中が朝霞市役所、そこから左下に下がって、中央公民館や図書館が整備されています。さらに左にいくと、総合体育館、左には中央公園陸上競技場と中央公園野球場が並んで整備されています。

このように市では、多様な施設を整備し、市民の方のニーズに応じた生涯学習の推進に努めています。

9ページをご覧ください。

朝霞市の3年間の予算をお示しました。

朝霞市の歳出予算は、令和3年度は450億5千万円で、令和5年度は500億円ちょうどとなっています。

その中で令和5年度教育費は、54億2321万2千円となっており、市全体の歳出予算に占める割合は、年度を通しておよそ10%となっています。

令和5年度教育費の内訳を表にしました。教育総務費、小学校費、中学校費等あり、生涯学習部に関連する社会教育費はそのうち、10億3341万2千円で、教育費予算の約19%を占めています。また、社会体育費は2億4243万2千円で、4.5%を占めています。

朝霞市では、先ほどの予算の中で様々な業務を行っていますが、このほかに、市で計画を定めており、これに基づき施策を推進しています。

まず、上の枠で囲っている「第5次朝霞市総合計画」が市の最上位計画になります。

す。

この中で、教育・文化ももちろん位置付けられており、生涯学習部の所管では、生涯学習の推進、学びを支える環境の充実、芸術・文化の振興のほか、スポーツでは、スポーツ・レクリエーション活動の推進、利用しやすい施設の提供などが施策として盛り込まれています。

また、教育委員会では、10ページ中段の「朝霞市教育大綱」やその下の、「第2期朝霞市教育振興基本計画」を定め、教育施策の推進に努めています。

これら計画に則って、生涯学習・スポーツ課では、「第3次朝霞市生涯学習計画」を定めています。計画の策定にあたっては、社会教育委員の皆様にもご意見やご提案など、建議をいただきながら策定して参りました。

「第3次朝霞市生涯学習計画」は、平成29年（2017）から令和8年（2026）までの計画期間になります。来年から第4次に向けて、社会教育委員の皆様にもお力を借りて策定できればと考えております。

現在の計画は基本理念として、「一人一人が心豊かにともに学び生きるまちあさか」と定められており、この中の目標が、「いつでも、どこでも、誰でも学ぶことのできる生涯学習社会の実現」「人と人とをつなぐ生涯学習社会の実現」「知の循環型社会の実現」となっております。更に「市民の主体性の尊重と協働による役割分担」「ライフスタイル・ライフステージに応じた学習機会の提供」「地域づくり・まちづくり・人づくりとしての学習機会の提供」を基本方針として施策を進めております。施策の柱の1. 新たな学びのきっかけを提供します。2. 使いやすい学びの場を提供します。これは施設関係です。3. 多様な学びのメニューを提供します。4. 市民の学びの主体性を支えます。5. 市民とともに学びを協働で推進します。これらの柱を定めて施策を推進しております。

これを基に、生涯学習部では、色々な事業を行っています。

(写真とともに紹介)

体験教室・放課後子ども教室（夏季休暇期間）・夏休み親子陶芸教室  
放課後子ども教室・芸術・文化事業・人権教育事業・成人の日記念式典  
スポーツ教室・市民体育祭・ロードレース大会

こうした事業のうち、特色ある事業として、地域などと連携した事業が「子ども大学あさか」です。

子ども大学は、大学のキャンパス等で、大学教授や地域の専門家などが、子どもたちに、ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」、地元の文化や歴史を知る「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野の課題をテーマとして、子どもたちに優しくこたえる講義等を実施するものです。

子ども大学は2002年（平成14年）にドイツで始まり、埼玉県内では、平成20年から川越市で「子ども大学かわごえ」をはじめ、本市では、平成23年度から開催しており現在に至っています。子ども大学では、青年会議所やそのOB

等で形成されたNPO法人、また東洋大学学生等を含む学生ボランティアサークル、地元の商工会などが連携し、実行委員会を組織し、開催をしています。

今年は5回開催しました。1回目は、7月に31人のお子さんが集まって講義と入学式を行い、2回目は浮世絵を作成し、3回目はミニあさかのイベントに向けてCMを作りました。5回目は講義と修了式です。

4回目は学園祭「ミニあさか」を行いました。10月14日に子ども大学の学生さんと準備をしました。15日は、学生と公募で募った子どもたち437人が参加し（522人の公募に800人位申込がありました）総合体育館の中にキッズシアタのようにブースがあり、一日楽しんでもらうイベントを行いました。コロナで3年間開催できず、4年ぶりに復活しました。お店は、アスレチック、映画館、銀行、市役所、警察などがありました。団体さんにもご協力いただき、バランスボールを教えてくれているファルモルさんや、あさかぐらんぱの会さんに皿回しをしていただいたり、大村商事さんに花や緑肥を配っていただいたり、夢工房さんにおりがみを教えていただいたりしました。また、色々な企業さんにカレールイスや飲み物などを出していただいて、子どもたちが好きなように食べられる形にしました。

このように、大学生や地域の大人たち、市が協力して今年度で13回を終え、好評価をいただいている事業となっています。

このように、生涯学習を推進していく上で、地域や家庭、学校との結びつきは大変重要なものであり、これらを繋ぎ合わせていくものとして、社会教育士、社会教育主事などがおります。

社会教育主事などは、国家資格ではありませんが、大学や講習会で専門的講習を受け、資格取得者は、地域における生涯学習をつなぎ、指導や助言しながら、学びを社会のいたるところに広めていく「仕掛人」として、豊かな地域づくりを期待されている専門的人材となりえる者です。

左側の表、朝霞市の職員も有資格者が20人以上おり、現在、教育委員会の生涯学習部内に所属する者は、表の1番から11番の11名になります。

そのほか、社会教育士の講習を受講して資格証明を得ている職員が中央公民館と生涯学習・スポーツ課に1名ずつおり、生涯学習の現場で3年間の勤務を経過して、社会教育主事の発令を待っているところです。生涯学習部では、毎年、講習会に職員を派遣し、有資格職員の増員を図っています。

なお、社会教育主事に関連する事項としましては、社会教育法第9条の2に「その有資格者を市町村に置く」こと、第9条の3に「社会教育主事の職務」、第9条の4に「資格要件」などが定められています。このように朝霞市では、引き続き有資格者を核として、生涯学習の推進に努めていきます。

最後に、34ページをご覧ください。

今後の生涯学習の課題として現在捉えているものです。

- ① 高齢化社会により元気なお年寄りがたくさんおられる中で、明るく・健康で・楽しみながら学ぶ機会を提供すること。

また、国際化の進展により、先のオリンピックでも外国人の方が我が国にもたくさん住んでいる中での多文化共生を捉えた事業を展開していく。

- ② 学びの費用負担などで、イベント・事業などなんでも無料ではなく、質の高い生涯学習を行うために、参加者への受益者負担も良しと考えていくこと。
- ③ 働く若い子育て世代は朝霞市にも多いことから、新たなニーズに応じた生涯学習の企画・運営をして、積極的にお誘いをしていくこと。
- ④ 社会教育施設等が老朽化（昭和50年代建築）していく中で、随時、施設の修繕、改修を図っていくこと。
- ⑤ 民間企業や地域事業主の皆さんと連携して生涯学習を推進していくこと。  
子ども大学あさかで実践しているので、これからも継続してやっていこうと思います。

以上で終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

#### <質疑応答・意見交換>

(金子議長)

ただいま、渡邊補佐からお話をいただきましたが、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

(藤井委員)

私も文化展とか市民体育祭に関わっているので、その辺の分野は分かりますが、子ども大学とか色々な事を行っている事を初めて知りました。こういう事は広く皆さんに分かりやすいように、知ってもらう必要があるのではないかと。そうすると参加者も増えるのではないかと。文化展もコロナでだいぶ減りましたが、巻き返しつつあります。しかし、来る方は関係者とか一部の知っている人だけで、もうちょっとPRすればもっと参加者が増えるのではないかと常々思います。

もう一点は、中学校でインターンシップがありますが、コロナで中々できませんでした。子ども大学でそれに近い事を行っているけれど、企業とタイアップして地域の活性化として中学生のインターンシップがどうなっているのか気になっています。

(金子議長)

私が知らない事業が幾つかありました。少ない予算の中で生涯学習の方は苦勞して、色々な事業をやっているのがよく分かります。この事業について学校の先生方、ご意見ございませんか。

(原委員)

社会教育という言葉が市民に浸透していない。単発の素晴らしいイベントも1回で終わってしまうより、2回3回と続くような年間を通したプログラムを組めばいいと思います。予算等の課題があるとお聞きしましたが、課題のところ

の意識の浸透が大きな課題だと思います。

私も所属の職員に、例えば体育・スポーツでもいずれは生涯スポーツに繋げていくものだよねという話をするのですが、なかなか生涯、社会体育、社会何とかという部分が、学校教育で持てないというのが課題です。

(齋藤委員)

冒頭は渡邊さんの歴史を見るようで勉強になりました。私は人権に関わっているのですが、色々な事ができたと思っております。ただ少し限られている部分もございまして、その辺をどう広げていくかが課題だと思っております。

これからの生涯学習の行政の課題として、民間企業の力と学校とどうタイアップできるかという事は、子ども達と親御さんとの関係を良くするためにも課題だと思っておりますので、その辺の施策を色々な部署と連携しながらやっていかなきゃいけないと思っております。

いずれにしても、こんなに沢山のことをやっていらっしゃることに敬服いたしました。

(木村委員)

こういう事業に関わっていらっしゃる方々の労力に敬意を払わせていただきたいと思いました。子ども大学あさかについても、こんなに詳しく内容を知ったのは初めてで、凄い事だなと感動しました。同時に、こういう事業に募集をかけた時に、やりたいと手を挙げてくれる子ども達は、学校においても学外の活動においても積極的に関わって伸びていく方々ではないかなと思います。それはそれで大切な事で、同時に弱者というか、自己評価が低いお子さんは、行きたいと自分から手を挙げてこない事が多いです。或いは、国際化の進展においても、国籍や文化背景が違うお子さん方も増えてきていると思いますので、ハイと手を挙げられる子を育てる事を推進しつつ、そうはできない子たちを吸い上げるような企画を広げていく事ができたらいいなと思います。

(金子議長)

生涯学習の中でどのように解決していくか、課題を5つ挙げています。一つ一つ見ると、進め方は色々あると思います。予算のこともあり、学校関係予算は修理費が増えたという事で、社会教育予算が19%ですので、これを少しでも増やし、人を増やし、45事業に伸ばそうと色々考えているようですので、こういうところも見ていただければと思います。

(小島委員)

学校とのタイアップというお話に関して、働き方改革で、中学校の部活動の指導者で地域の方々の力を借りるという事になっていますが、朝霞市としてはどんな方向になっていきますか。

(事務局：堀川生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長)

昨年度から学校関係と生涯学習・スポーツ課が関わって、地域のスポーツ団体のご協力をいただいて、そういった動きが始まっております。県内でも、ちょっと国の予算がついてお試的にやっている市もありますが、それ以外は進んでいないのが実情です。学校側の話を知ると、平日を移行するのはすぐには難しいので土日という事で、具体的にどうするまではいっていないので、大きな課題だと思います。

(渡邊委員)

社会の中で、自己肯定感と自己決定感をどこでどうやって学んだらいいのか気になっています。自分で決定した事に対して責任を持てる大人でありたいし、小さい頃に自己肯定感が崩れると色々なトラブルが起きる可能性が高いので。小学校の運動会を見ても凄く子どもが飼いならされているなと感じます。大人の学習でも、昔はリカレントとって、スポーツなどで講習をやってその後同窓会でグループを作ってやっていくような形もできてはいるのですが、そこまでプッシュできない。自分たちができる事をやっていかないと、と思います。

(野本委員)

予算が減ったからと言って朝霞市の教育が落ちているという事ではないです。教育長と話をした時、朝霞市は県内でもレベルが結構上の方ですよという事で安心はしたんです。私も議員になって32年「青少年育成」という大旗を掲げて、今もそういう事をやらせていただいています。町内会で神輿を作ったのですが、担ぎ手がない。下の人2、30人にお願いしました。このような核になるものがあると、そういう子ども達を育てていくことで、町内会の武蔵という鳴子のチーム、そういうところに波及しているんです。若者がチームを作って地域おこしに頑張っている子たちが、去年コロナで50人に減ったのですが、今年は100人います。

生涯学習の体験教室も写真見ると凄く分かりやすいです。一過性で終わらせるのではなく、行政がフォローしながら続けていくことによって、一つの団体がだんだん大きくなればそれだけ根が大きくなると思います。

この間もイルミネーションの点灯式で、お汁粉の無料配布をして、4年目ですが、400食を15分で配布しきってしまった。若者がやって、今年は中学生が10数名手伝ってくれました。そういう風に引き込んでいくということも大切なのかなと思います。それにはフォローしていく人がいないとだめだと思います。

参加者が参加しづらい所もあるので、そこを考えてよろしくお願いします。

(金子議長)

民間の力を借りたり、企業から特殊な技能を持っている方を募集したりして、費用をかけないでそういう人たちの力を借りながら進めていく。生涯学習の他に公民館・図書館・博物館各事業みんな沢山やっています。私もこんなに事業を生涯学習でやっているとは知らなかったもので、勉強になりました。



(田邊委員)

彩夏祭、黒目川、人参、全部教育活動に取り込みたい内容の一つで、3年ぶりに六小関係の地域の少年団さんが彩夏祭に出て、長である方が学校に挨拶に来られた時、3年生が朝霞を勉強しているので運動会でやってみたらどうですかという事で、地域づくり支援課の方が色々な方を呼んで学校に指導しに来てくれたんです。子ども達が喜んで、社会科の勉強も朝霞市民の誇りを持って勉強する。運動会でもよさこい関係者が意外に多くて、非常に喜ぶ。教員が考えたダンスよりも朝霞市の魂が動かされるような、そういう取組になったと感じます。

小学校の総合的な学習の時間で培うのは探求的な力。失敗しても次はこうしようと、6年生辺りだと創作する力もあるし、子どもと教員だけではできないから、地域の方が関わって、子ども達が探求して発展していったらいいなと思っています。社会教育が学校教育にタイアップしていくレイアウトではないかなと感じました。

例えば、町の商店街がどうやって黒目川を守ってきたかを学んでいるので、市役所の方とタイアップしたらもっと効率良く深く本当に必要なものが学べる。子ども達もポスター作りたくなれば生きがいを感じながら作れると思うし、将来的にその子たちが黒目川を守る活動に繋がっていけばいいと思います。

5年生は人参をテーマに総合的な学習をやっていますが、学校協会の会長さんにご協力いただいて人参堀りの体験をし、人参をアピールするにはどうしたいのかとか、教員は朝霞に住んでいない方も多いので、地域の方とタッグしたらこんな商品ができるよとか、そういうものにも繋がるのかな、もっと本気度の増す活動ができるかなとか、どうやったら社会教育に繋がるかを模索していました。

(金子議長)

何で朝霞が人参の街なのか知らない方が多いと思いますが、人参は昔非常に長かったんです。短い人参に改良したのが、膝折の方なので、朝霞が人参という事で有名になった。地域を発展させるには、歴史を知って子ども達に知らせる事が大事だと思います。

(蔵田委員)

興味があった活動を具体的に知る事ができて良かったです。私が図書館で活動していると思うのは、広く皆さんが来てくださっているというよりも、敏感な方はどんどん参加するし、そうではない方は「こういうのやってるの？知らなかった」という方が多いので、情報提供とか発信を考えていけるといいのかなと思っています。ホームページには出てるけど「知らなかった」という方もいます。あと、親の家庭教育力に関係すると思いますが、ブックスタートというお子さんたちに絵本を配っているのですが、せっかく2冊も、普通だったら「本もらえるの嬉しい」と思っていたきたいところが、お母さんたちが「ちょっと忙しいからいいです」と断って帰られる方がいます。人間力やコミュニケーション力をお家の方と楽しく作っていけるようなアイテムなのに、残念だと感じる事があります。以前よりは「読んでますよ」という方が増えているのはいいと思いますが、アプロ

一ちしていけたらいいと思いました。

(蕪木委員)

色んなイベントを頑張ってくださいありがとうございます。朝霞の人口が増えているという事は高齢者も増えていると思います。高齢者はどちらかというとホームページを見ないし、イベントがあっても無頓着或いは知らないという方が多いような気がします。予算の中で民生が多いですが、いかに健康な生活を送ってもらって医療費を少なくするには、高齢者へのアプローチがあつていいと思います。家の中にいると弱ってしまうので、外でスポーツするとか陶芸でもいいので、そのようなイベントに高齢者を入れて、この写真の一部に高齢者の団体があると、高齢者にもアプローチしてもらっていると思います。どの様にアプローチしたらいいか意見は持っていないのですが、考えていただくとありがたいなと思います。

(金子議長)

高齢者の場合老人クラブがあり、事業も運動会とか色々やっていますが、生涯学習との繋がりはないようですが、何かあったら繋げていけたらいいと思います。

(事務局：渡邊補佐)

先日、体験教室で「メルカリ教室」をやったら好評でしたが、お年寄りの方が来て、アプリを入れて下さいと言っても凄い時間がかかって、でも楽しくやって終わりました。

(金子議長)

色々なご意見ありがとうございました。この辺で終了させていただきたいと思います。それでは、渡邊補佐、ご説明ありがとうございました。

(2) その他

(事務局 五味主任)

まず、南部教育事務所が主催する、令和5年度南部地区社会教育関係委員・職員研修会が、令和6年1月23日(火)14時から開催予定でございます。今年度も、オンラインでの開催ということで、本市では、朝霞市役所別館5階、502会議室を確保しております。本日、委員の皆様の上に研修会参加のご案内と研修についての開催要項を置かせていただきました。

委員の皆様、ご都合よろしければ是非ご参加ください。なお、出席を希望される委員の方は、12月20日、水曜日までに、生涯学習・スポーツ課の職員までお返事ください。本日の会議後でも結構です

次に、第3回社会教育委員会議につきましては、令和6年2月中旬頃に開催を予定しております。決定しましたら、早々に委員の皆様にご通知いたします。

本日は、年末のお忙しい中会議に御出席いただきまして、ありがとうございます

した。これもちまして、令和5年度第2回社会教育委員会議を終了いたします。  
ありがとうございました。

○閉 会